



**4割がペイオフ解禁で預金を移動 郵便局は2割  
自分のお金なのに手数料を取られるのは不満 早く金利を上げてほしい**

お金の預け先は、都市銀行、郵便局、地方銀行の順。安全神話が崩れたというものの、都市銀行の利用者は多い。メインバンクはあるか?の問いに、約8割近くの人があると答えた。ペイオフ解禁の際、預金を動かしたのは、全体の4割(図1)。預け替えを年代別にみると、同じ銀行で普通口座に移したのは50代以上が多い。数は少ないものの、株や国債も買っているこの世代、まずは様子見している。

**銀行の安全性は新聞で**

銀行の安全性を知るには、全体では、新聞、テレビ、銀行の株価の順(図2)。やはり、マスメディアの影響は大きい。年代別にみると、新聞は年齢が上がるにつれ、支持率が上がる。銀行の株価も、預金保有高より目安にされている。具体的な動きがあり、分かりやすいものの方が、判断材料になる。20代~30代も、預金保有高より口コミやインターネットを情報源としている。

**40代以降は、投資信託、外貨預金もあり**

銀行口座は図3の通り。年代が上がるにつれ、投資信託、外貨預金と、リスクはあるが金利のよい商品に預けている。

今回のアンケートでは、ペイオフ解禁で動かしたお金を、さらに有利な運用先を考えている人は4割を超える。よい預け先を見つけない人は、まだまだ多い。

とは言え、銀行に望むことは、超低金利時代を反映し、金利の引き上げ、手数料廃止・引き下げなど。増やしたいのに増やせない時代だからこそ、「同銀行間の振り込みなのに手数料がかかる」と、手持ちのお金が減るのは不満との声が出ている。

**調査概要**

- リビング新聞(首都圏10版) 2002年4月13日付紙面掲載アンケート
- 応募総数778通から、20代以上の既婚女性500通を集計
- 年代層 20代16.2%、30代34.2%、40代17.8%、50代20.4%、60代以上11.4%
- 職業構成 主婦専業67.8%、パート勤務20.8%、フルタイム勤務9.2%、自由・自営業2.2%
- 地域 23区内18.6%、都下7.8%、神奈川県44.2%、千葉県13.0%、埼玉県16.4%
- 子供の有無 あり77.4%、なし22.6%

図1 ペイオフで預金を動かしたか? (%)  
複数回答

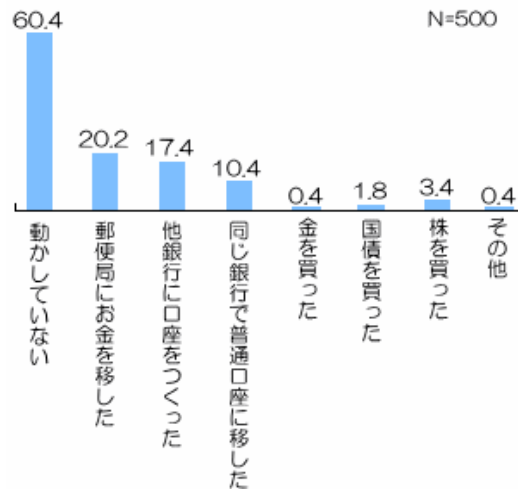
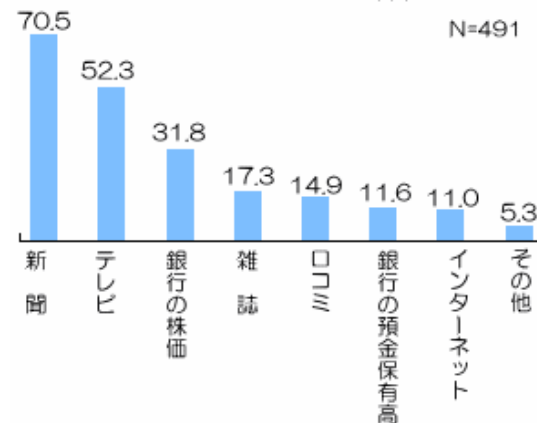


図2 銀行の安全性を知る方法 (%)  
複数回答



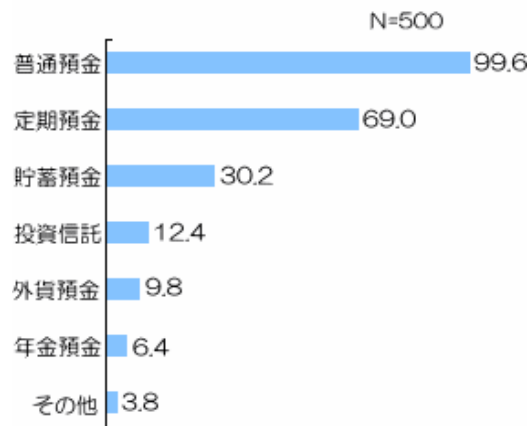
リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

【問い合わせ】 TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430



図3 銀行口座の種類 (%)  
複数回答



<調査項目>

- 1.お金の預け先 (年代別)(住所別)(職業別)(子供の有無別)
- 2.口座の種類 (年代別)(職業別)
- 3.メイン銀行の有無 (年代別)(職業別)(子供の有無別)
- 4.ペイオフ前に預金を動かしたか (年代別)(職業別)(子供の有無別)
- 5.動かしたお金は今後どうするか (年代別)(住所別)(職業別)(子供の有無別)
- 6.銀行の安全性を知る媒体 (年代別)(職業別)
- 7.銀行の使い方 (年代別)(職業別)(子供の有無別)
- 8.金融機関の商品情報を知る媒体  
(年代別)(職業別)(子供の有無別)(動かしたお金の行方別)
- 9.家計の管理者 (年代別)(住所別)(職業別)(子供の有無別)
- 10.銀行について (年代別)

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

【問い合わせ】 TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430